

地域課題の解決策発表準備

▶発表資料の作成

骨子をもとに、聴衆である行政職員に伝わりやすい発表資料を作成する。

- ◇ターゲットを意識した構成：1スライド1メッセージを意識し、情報を詰め込み過ぎないようにする。
- ◇視覚的な訴求：ロジックツリーを図で示したり、写真やグラフを効果的に使ったりすることで参加者の熱意や課題の深刻さを伝える。
- ◇論理的な流れ：課題⇒原因⇒解決策⇒効果⇒協力依頼という、ストーリー性のある流れを意識する。資料に不必要な専門用語は避け、誰にでもわかる言葉で表現する。
- ◇魅力的なタイトル：行政の関心を引きつけ、課題の核心を突くようなタイトルをつける。



▶発表練習をする

- ◇本番での発表が成功するよう、実践的な練習と相互フィードバックを行う。
- ◇発表練習：発表時間を設定し、時間を意識しながら実際に発表する練習を繰り返す。
- ◇相互フィードバック：発表者・聴衆役を入れ替え、お互いに客観的なフィードバックをします。
- ◇質疑応答の準備：行政職員から想定される質問を考え、それに対する答えを準備しておく。

次回の発表会に向けて、チーム毎に前回のセミナーで決めたテーマのロジックツリーをもとに、内容を整理してみました。そして、聞き手に届く発表になるようストーリーを考え、パワーポイントで資料作りをしました。各チームともアイデアが次々と出て、とても有意義な時間となりました。全員が持続可能な取り組みの展開を目指している点が一致しているので、企画の工夫がカギとなりそうです。

参加者の声

- * 自分一人では難しくても、仲間がいることで話し合い自体が深いものになると感じました。
- * 想いをカタチにするストーリーの流れを活用すると、短い時間でも頭の中がスッキリ整理されとてもスムーズ話し合いを進めることが出来ました。